

救急救命士学生と初コラボ



P S Aとの集合写真

薬学生にとって、救急領域において薬剤師は何かができるのだろうか、という疑問は誰もが抱いていることなのではないでしょうか。そのような中で、救急医療での薬剤師の活躍を知りたい、救急医療で活躍する医療者たちを知りたい、という思いが生まれ、今回のI P E (Inter professional education: 専門職連携教育)、薬学生と救急救命士学生のコラボ企画が立ち上がりました。おそらく日本初の試みなのではないかと思います。最初は、企画側もお互いの仕事のことは全く知らず、接点が全く分かりませんでした。しかし、分からないからこそイベントをやってみみんなで一緒に理解していこう、と私たちは同じ方向を向き企画を進めていきました。

そして、日本臨床救急医学会の協力を得て、救急認定薬剤師という資格を持った薬剤師の先生と出会い、当日のイベントでも講演していただくことができました。講演テーマは「救急医療における薬剤師の活躍・チーム医療」、ご自身の豊富な経験をもとに大変分かりやすく講演していただきました。

救急時において情報収集が大切であること、先生は災害医療においても活躍されているので、災害医療についてもお話しいただきました。その中で、災害時というのは通常の対応能力を超えた状態である、という言葉が大変印象的でした。だからこそ、よりスムーズな連携が求められているのだと改めて思いました。そしてスムーズな連携のためには、日頃から他の医療者のこ

とを良く知っておくことが何より大切なことだと、改めて認識を深めました。そのほか、お互いの学部紹介のためのクイズ大会と学生によるプレゼンを行いました。お互い知らないことがたくさんあり、理解がとても深まり、クイズ大会も大変盛り上がりしました。

東海地区で初「コスプレ献血」



献血活動の様子

「献血Vampireキャンペーン&薬物乱用防止運動」を愛知県の金山駅で行いました。まずは、事前にスタッフで集合し、献血や薬物に関して自分自身知識をつけ、そしてその後、どのようにして、町の人たちに知っていただくかを議論し、その案をもとに街頭に出て呼びかけをさせていただきました。

公衆衛生委員会でも定番となりつつある「コスプレ献血」、今回はマリオのコスプレにより通行人の方に楽しんでいただき、また、少しでも献血や薬物について考えるきっかけとなっていたけたのではと思います。

最後に、WS「プレホスピタルとインホスピタルをつなぐには？」を行いました。薬学部生と救急救命士学生によるディスカッションは、ほとんどの人が初めての経験だったため、まずはお互いの知っている知識や考えの交換から始まり、中には、医療に対する考え方や医療人としてのマインドに関するところまで深い話し合いができていたグループもありました。

「プレとイン」という認識を持たない薬学生と、プレで主に活躍する救急救命士の学生、根本的な考え方や知っていることの方向が全く違っていたので大変面白いディスカッションとなりました。

今回のイベントを終えて、「今まで知らなかった学部のことを知れてよかった!」「薬剤師が救急医療でも活躍できることが分かってよかった!」「薬学生・救急救命士学生と友達になれてよかった!」などの、うれしい声を多くいただきました。今回のI P Eは、I P Eで最も大切な「相互理解」という点において、大成功だったと言えると思います。このコラボイベントは今後、東京以外でも行っていきたいと思っていますので、ご期待ください。

薬学教育委員長

飯塚千亜希 (慶應義塾大学2年)

お問い合わせ先

education@apsjapan.org

今日のイベントを次回に生かして、もっと素晴らしいイベントを行い、東海の今後の発展につなげていけたらと思います!!

また、今回のイベントは東海の『新歓』で、日本薬学生連盟の皆様との素敵な出会いがあり、刺激を受け、実現したイベントであります。また、皆様とお会いして一緒にイベントを行える日を楽しみにしています。今後とも東海をよろしくお願い致します。

公衆衛生委員

竹内美緒 (名城大学5年)

公衆衛生委員長

南絢子 (慶應義塾大学3年)

お問い合わせ先

publichealth@apsjapan.org



集合写真

お問い合わせ先

一般社団法人日本薬学生連盟 / APS-Japan

事務局 aps-japan@aps-japan.org

U R L http://aps-japan.org/

Facebook http://www.facebook.com/APS.Japan

Twitter Official @APS_Japan

編集・広報統括

武庫川女子大学4年

植山 陽子



あなたの健康は 家族の願い みんなの健康は 地域の絆

「さかきばら薬局」は大野城市を拠点とし、福岡県下に6店舗の調剤薬局を展開しています。

昭和61年の本店開局より、地域に密着した『かかりつけ薬局』をめざし、患者さんがくすりに関した最良のサービスを受けられるように活動してまいりました。また、漢方相談や季節の病気とごはんの開催を通じて、『元気づくりの発信基地』としての役割も果たしてゆきたいと思っております。

今後も医薬品の質の良い情報提供者として、皆様の健康づくりに貢献する社会的責務を担って参ります。

会社の詳細は →

さかきばら薬局

検索

株式会社 さかきばら薬局

〒816-0952 福岡県大野城市下大利1丁目2-6 第三筑水ビル1F
TEL:092-574-8677 FAX:092-574-8655